

買て來る古椀よりも世の中にかけたることのおほき身ぞうき

濃州岐阜 鶴壽園志翁丸

ちぎりしはかた地とおもふ古椀のちぐはぐになる中ぞつれなき

○按ズルニ、古椀買トハ、椀ノ具備セザルモノ、又ハ缺損セルモノヲ買ヒテ修繕シ、其蓋ト身ト

ヲ具シテ、再ビ市場ニ出シテ、賣買スル者ヲ謂フ、

〔韜隨筆〕狂語

父もなく母もなく、箸もなく汁もなく、て、の椀の山盛りをつかみくらはんず、

〔婚禮道具諸器形寸法書〕ウツネナリ産砂椀

○按ズルニ、日ニ鶴龜松竹梅ノ模様アリ、總高四寸一分、カウダイノ高一寸二分、徑五寸二分、カウダイノ徑二寸七分ナリ、其産砂ト名ヅクルノ意詳ナラズ、

〔荷物貫定〕騎馬荷物ノ事

椀七十五匁 一具○中略

役武者荷積

椀七十五匁 一具○中略

士大將荷物貫目

椀二貫百目 廿人

〔數寄道具定直段附後篇〕塗師宗哲

芳野椀

五人前 百四拾目

大。一。文。字。椀。

同 百二拾目

小。ノ。方。

同 百拾目

椀雜載